

JDT2023 移行ガイド

2023 年 7 月

概要

JDT (JIS Draft Template) 2023 は、インストール及び起動手順の改良、マクロセキュリティへの対応などを主とした JDT のバージョンアップ版です。

現在 JDT2019 が正常に動作する場合はすぐに切り替える必要はありません。本文書の「修正点」をご覧ください必要に応じて移行を検討してください。

同一のパソコンで JDT2019 と共存することも可能ですが、JDT2023 で編集したデータは JDT2019 では扱えなくなってしまう可能性があります。JDT2019 (だけ) をお使いのユーザー様と共同作業される場合は、JDT2019 をご利用いただくか、全員のバージョンアップをお願いします。

JDT2023 で編集したデータを JDT2019 用に変換することも可能です。JDT ヘルプデスク jdt@jsa.or.jp までご依頼ください。

移行手順

JISC ホームページのインストーラ (setup.exe) を起動してインストールします (従来と同じ)。

JDT2019 を削除する必要はありません。

修正点

1. インストールの改良

インストーラ (setup.exe) を見直し、デフォルトでは C ドライブの直下に展開するようにしました。これにより、システム領域 (C:\Program Files など) に書き込み制限がある場合でもインストールできます。

Setup.exe の起動自体にセキュリティ上の支障がある場合は、ZIP ファイルからインストールできます。JDT ヘルプデスク jdt@jsa.or.jp までご連絡ください。

2. 起動手順の改良

起動プログラム (JDT2023.exe) を見直し、モジュール不足で動作しない現象に対応しました。最新の PC 環境でも動作するようになります。

起動プログラム自体にセキュリティ上の支障がある場合のために、スクリプト起動手順が用意されています。

3. マクロセキュリティへの対応

JDT の本体である VBA マクロプロジェクトに、デジタル署名（コードサイニング証明書）を付加しました。マクロのセキュリティ設定が強化されている場合でも

デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする

の設定で動作します。

デジタル署名があっても実行が許可されない場合は、残念ながら JDT をお使いいただけません。JDT ヘルプデスク jdt@jsa.or.jp にご相談ください。

4. 用字用語チェック機能

JDT2019 では<版下モード>だけとなっていたのですが、<一般モード>でも動作するように戻しました。

5. 「注記・注・例・注釈」メニューの訂正

メニューの構成が、実際の運用と異なっていたので訂正しました。

6. 解説の箇条タイトルの訂正

解説のひな形の箇条タイトルを修正しました。解説については JIS Z8301 に規定がなく、JSA として推奨する内容になります。

7. 定型文の訂正

規格票（対応国際規格あり）を新規作成するとき、引用規格の注記において、「対応国際規格」を、「対応国際規格における引用規格」と訂正しました。

その他細かな訂正がありますが、JSA の校正段階で確認しますので、引き続き JDT2019 をお使いいただいで問題ありません。

以上